

新型コロナウイルス感染症に係る緊急影響調査（4月～3月）

1 調査対象

茨城県内の中小企業、小規模事業者

2 調査方法

県内商工会議所及び商工会に対し、アンケート形式の調査票送付により実施。毎月20日〆切

3 回答数

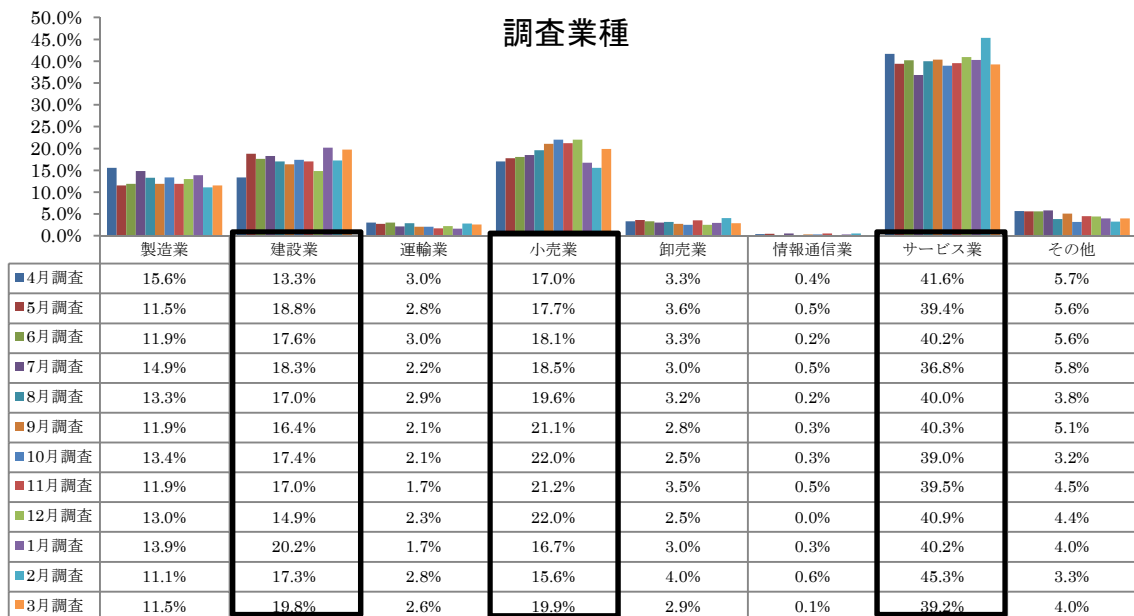
4月調査： 1,297社	5月調査： 1,195社	6月調査： 1,017社	7月調査： 962社
8月調査： 940社	9月調査： 905社	10月調査： 904社	11月調査： 933社
12月調査： 882社	1月調査： 902社	2月調査： 891社	3月調査： 895社

4 調査結果

(1) 回答企業の業種及び規模について

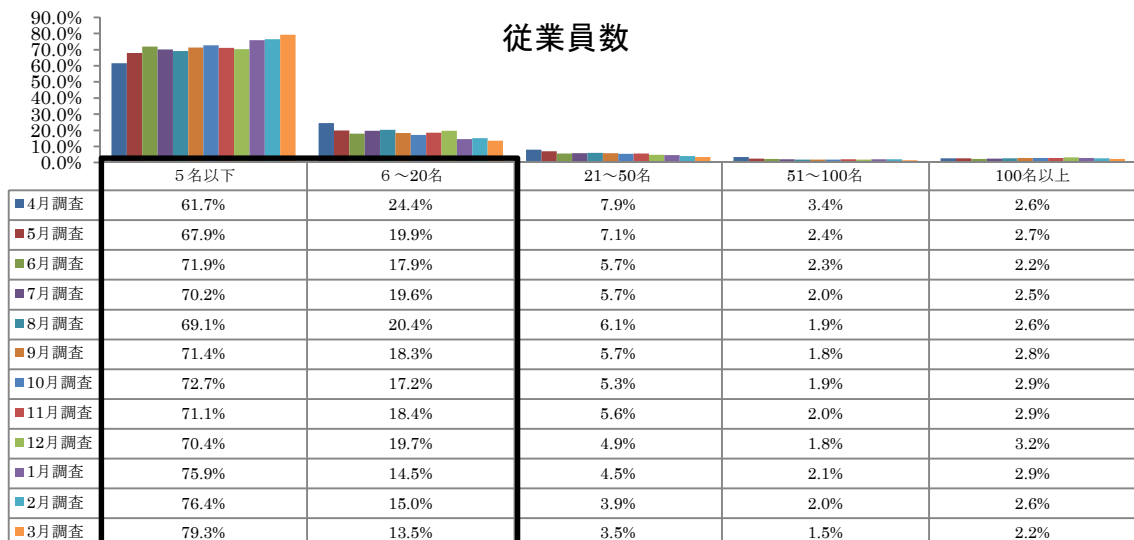
【業種】

サービス業、建設業、小売業の割合が多いが、回答企業の業種傾向に大きな変化はない。



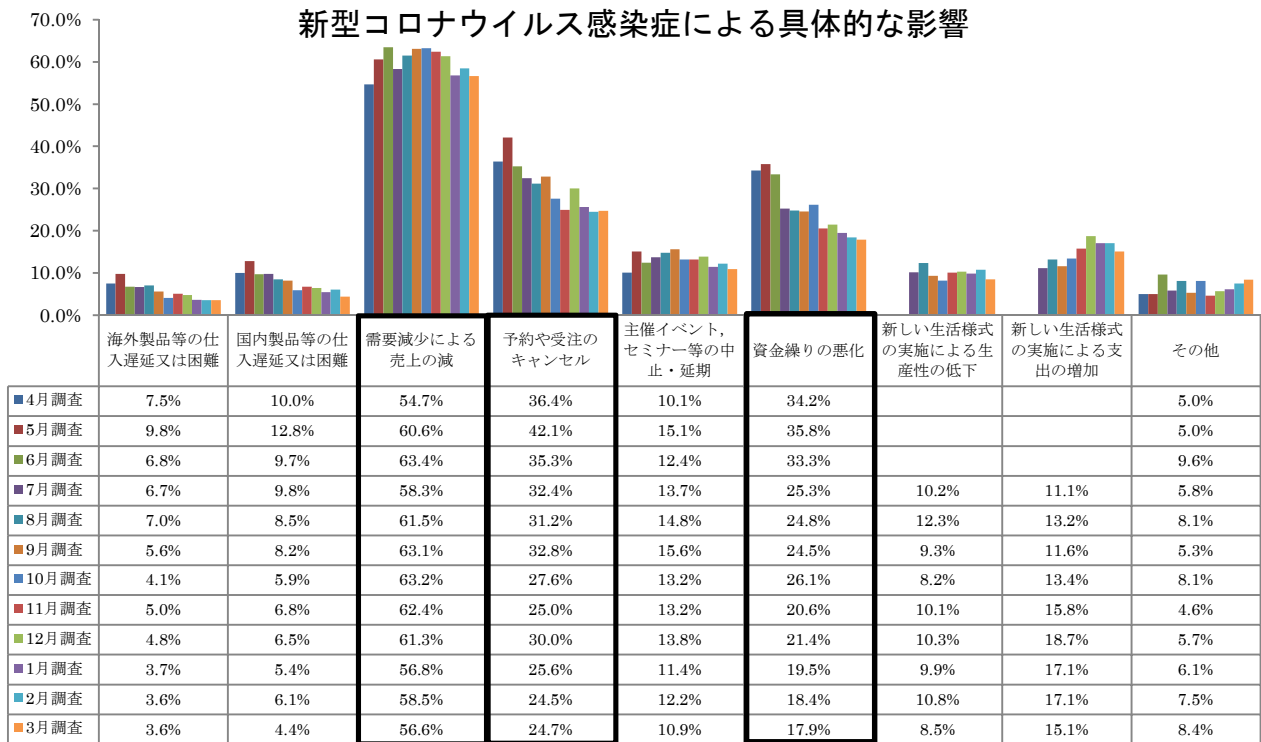
【規模】

各調査回ともに従業員数20名以下の企業が全体の85%以上を占めている。



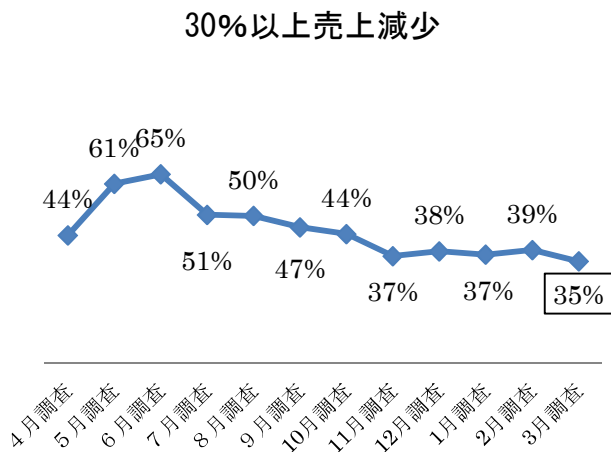
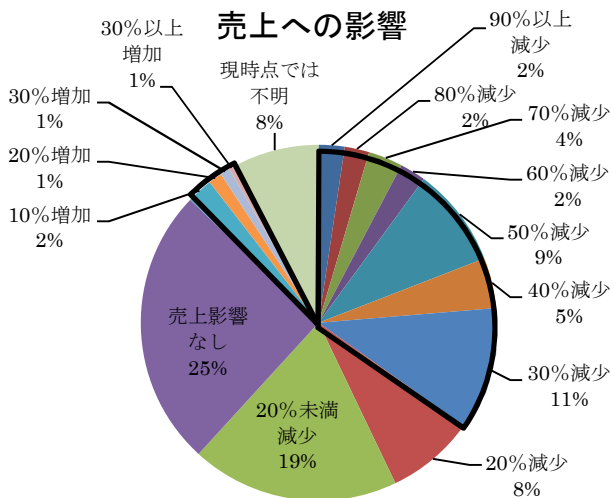
(2) 具体的な影響について（複数回答）

具体的な影響については、「需要減少による売上の減」「予約や受注のキャンセル」「資金繰りの悪化」が継続して回答割合が高い結果となっている。



(3) 売上への影響について

回答事業者の4割弱が「30%以上」売上が減少したと回答しており、先月調査から4ポイントの改善となった。



当面の売上見通しについて質問したところ、25%の事業者が「悪くなる」と回答し、「よくなる」と回答の4%に比べ、21ポイント多かった。

前月と比較し、15ポイント改善しているが、前月と比較し、「よくなる」と回答した割合は1ポイントの増加に留まっており、「緊急事態が解除になっても人の動きがなかなか戻らない」「生活様式の変化で、急激には良くも悪くもならない」「先が見通せない」などの声が寄せられるなど、状況は悪化しなくとも現在の低迷した状況がそのまま続くと考えている事業者が多い。

※D.I. : 「Diffusion Index」の略でデータの動きを一目で把握できるよう構成百分比同士の差で指標化したもの。D.I. = 「よい（よくなる）%」 - 「悪い（悪くなる）%」

